



图 4 - 2 カンチャナブリ県農作物育成適正期間

(2) ランパチ川流域

図4-3のランパチ川流域図に示すように、ランパチ川はクウェ・ノイ川の右岸の一支流であり、その流域は緯度13°08'~13°55'、経度99°15'~99°33'に位置し葉っぱ状の形をしている。西側はタノアシ山脈(Ta Noa Si ranges)が分水嶺になっていてミャンマーの国境に近く、西南は海拔300~660mのやや高地でその西側を南西から北東から北に向かってランパチ川は流化している。ランパチ川河岸はGPSで測定した標高値では流域中央近くで80m、メクロン川との合流点近くでは41mであった。ランパチ川流域レポートによると西部の海拔1,179mが最高地で、低地はダン・マカン・ティア郡(Dan Ma-kan Tia District)のバンランパチ村(Ban Lan Pa-chi village)の25mである。流域面積は2,511.55km²であり行政上はカンチャナブリ県(Province)とラチャブリ県に属している。ランパチ川は南西の丘陵地を源にしてこの平坦な地域を北に流れダン・マカン・ティア郡のバンサデット村(Ban Tha Sadet Village)でクウェ・ノイ川に合流している。冒頭写真(ランパチ川合流点)に見られるとおり、合流点付近は氾濫域になっている。ランパチ川に沿って丘陵地ではHuai Kloon Stream, Huai Tha Kai Stream, Huai Nam Koon Streamなどの多くの支流が流れている。本流は冒頭写真(ランパチ川本流)を見れば明らかなようにその特徴はほとんど手つかずといえる自然河川で1か所に堰が建設され、そこでタイ独特のturbine water pumpで取水口からポンプアップして水路に水を上げているのが、唯一見られた本流に建設された構造物であった。流域の特性を表4-3に示す。

表4-3 流域特性

流域	位置	面積 (km ²)	Average slope (%)	Drainage density (kms/km ²)	Compactness coefficient	Form factor
Huai Lam Kloong	N13°46'36" ~ N13°52'31" E99°10'15" ~ E99°22'53"	125.0	33.90	0.89	1.82	0.17
Huai Kloom	N13°33'00" ~ N13°45'35" E99°10'05" ~ E99°22'35"	248.6	30.87	0.82	1.52	0.30
Huai The Kei	N13°33'00" ~ N13°45'35" E99°10'05" ~ E99°22'35"	288.2	25.01	0.26	2.13	0.19

出所：ランパチ川流域より

(3) 表流水

ランパチ川本流の過去5年間の流量を付属資料7.に示す。これによると本流の乾期の流量は0~5m³/secであり、現地調査で黙視で判断したところでは中流で2~3m³/secであった。降雨量から推測したランパチ川流域の流量を表4-5に示す。メクロン川の本流との合流点の直上流ではメクロン川から逆流している。維持流量を考えると、中規模以上の貯水池を計